

日本海沿岸東北自動車道（日沿道）

情報化施工の工事現場見学会を開催

～新しい建設現場の取り組みをご紹介します～

羽越河川国道事務所が工事を行っている、日本海沿岸東北自動車道の村上瀬波温泉IC～朝日まほろばICの延長約9km区間においては、工事最盛期を迎え、今年度内の供用に向けて順調に工事が進んでいます。

今回、情報化施工の普及・促進を目的として、工事建設業者を対象とした現場見学会を開催します。併せて報道関係者の皆様へご案内いたします。

情報化施工とは・・・

情報通信技術や電子情報を活用して工事（施工）を行うこと。生産性の向上や品質の確保を図ることを目的としています。

今回の見学会で、実際の工事状況をご覧頂けるものは次の技術です。（詳細は別紙）

- ・マシンコントロール技術
- ・GPSによる締固め
- ・トータルステーションによる出来形管理

1. 開催日時 : 平成22年7月6日（火）9：30～11：30  
※雨天の場合は7月13日（火）に順延します。  
雨天順延の場合は、7月5日（月）17時までに、羽越河川国道事務所ホームページにてお知らせします。  
（HPアドレス：<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/index.html>）
2. 集合場所 : 新潟県村上市天神岡地先（別図参照）
3. 内 容 : 工事概要などの説明後、情報化施工をしている現場をご案内します。
4. 注意事項 : ヘルメット、長靴は当方で用意します。当日は直接見学者用駐車場へお越しください。  
一般の皆様を対象とした現場見学会は、8月頃を予定しています。

同時発表記者クラブ

新潟県政記者クラブ  
新潟日报社（村上支局）  
村上新聞社  
いわふね新聞社

問い合わせ先

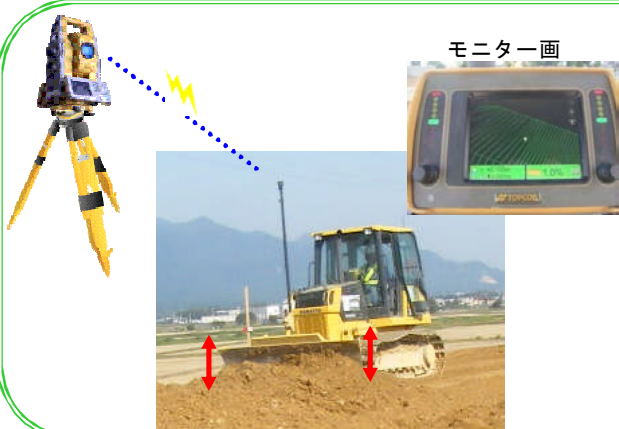


国土交通省 北陸地方整備局  
羽越河川国道事務所 工務第二課長 嶋倉正幸  
TEL : 0254-62-3211（代）

# ●当日の工事実施技術

別紙

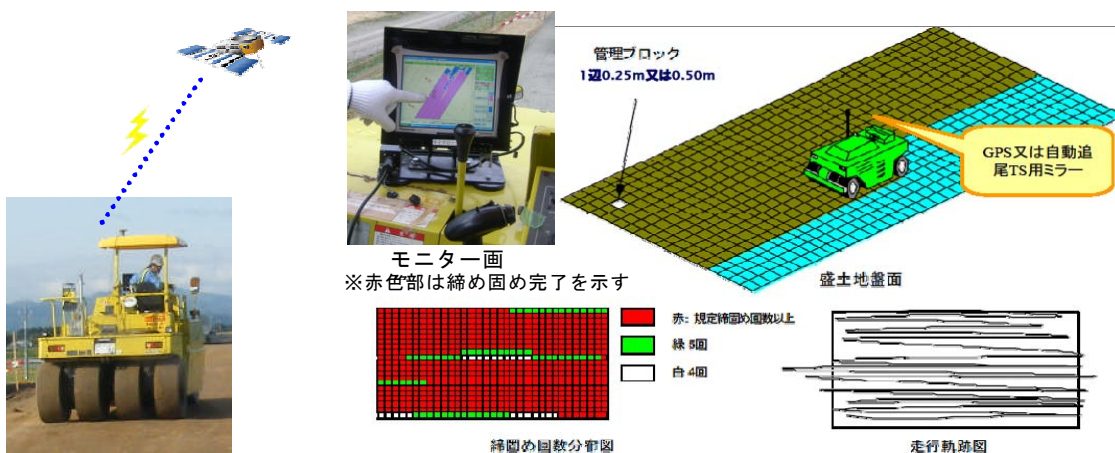
## マシンコントロール技術



- ・モーターグレーダー、ブルドーザーなどの建設機械において、土を押し板の高さ・角度を設計の仕上がり位置どおりに自動的に動かして工事を行う技術です。
- ・モニターには、計画データ（位置、高さ、勾配）と現在の排土板の高さとの差（切土/盛土）が、リアルタイムで表示されます。
- ・機械の排土板（土を押し鉄板）を自動で上下に動かし、計画した高さで土や砕石をならします。  
※運転は運転手が行います。

## GPSによる締固め回数管理

- ・カーナビに使われるGPS等で、建設機械の通った後を電子データで記録します。盛土を何回踏んだか、パソコンで確認することが出来るため、踏み残しや踏み過ぎを少なくすることが出来る技術です。
- ・タイヤローラーについているモニターで、どこを何回走ったかが一目で分かる様になっています。



## トータルステーションによる出来形管理

- ・トータルステーション（角度と距離を同時測定出来る電子式の測量機器）を用い、出来形（出来上がった部分）の管理を、今まで使われている巻尺等に代わって行う技術です。
- ・今までは、計測結果を紙に手書きで記入し整理していたものが、機械で記録するため施工管理の効率化が図れます。

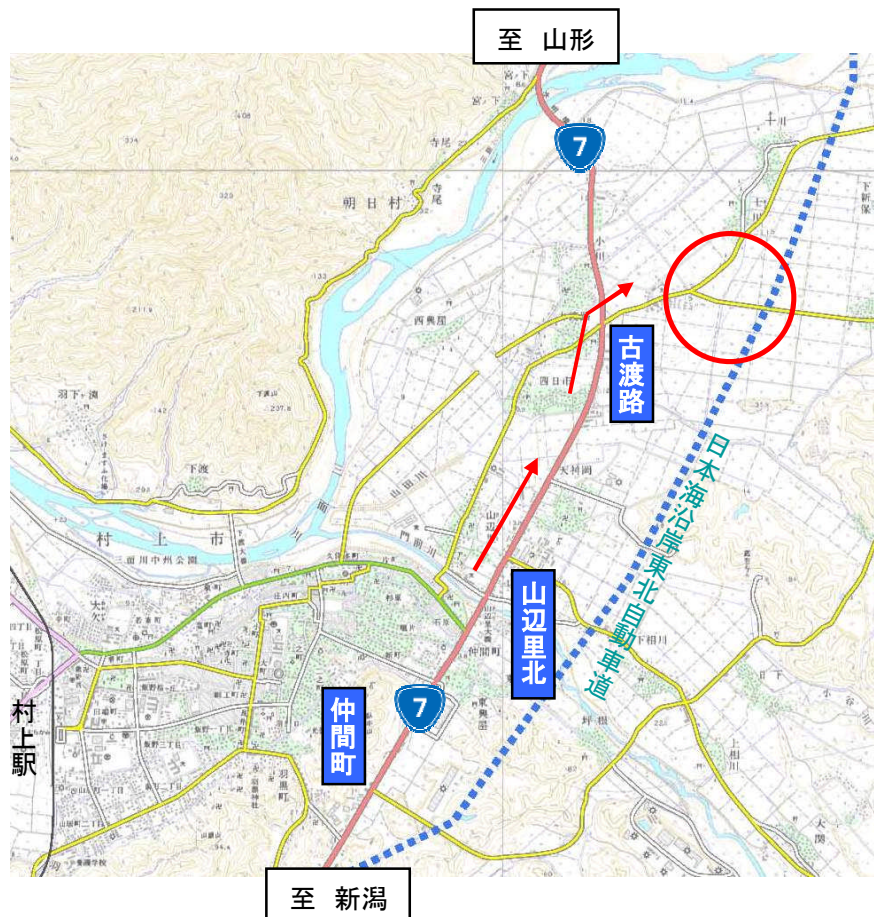


効率化



## ●見学会場・駐車場へのアクセスマップ

- ・国道7号を山形方面へ向かい、古渡路交差点(セブンイレブン)を右折。小川交差点を右折し、日沿道手前を右折。事業用地内に駐車場があります。
- ・現地には、誘導員がいますので、案内に従ってお進みください。
- ・駐車場の数に限りがございますので、乗り合わせでの来場にご協力ください。



### <拡大図>

